

レジメンcode:	C35-58
適応がん種:	非小細胞肺癌
レジメン名:	PEM+Osimertinib
間隔:	3週間

備考

略名	抗がん剤(採用薬品名)	投与量	単位	投与法	投与日
PEM	ペメトレキセド(アリムタ)	500	mg/m ²	点滴(10分)	d1
	オシメルチニブ(タグリッソ)	80	mg/body	内服(朝食後)	連日

ペメトレキセド(アリムタ)初回投与の1週間以上前～ペメトレキセド(アリムタ)最終投与日から22日目まで連日投与

1) パンビタン	1 g/day
	内服 朝食後

ペメトレキセド(アリムタ)1週間以上前～ペメトレキセド(アリムタ)最終投与日から22日目まで9週ごとに1回

1) シアノコバラミン	1000 μg	1 A
	筋注	

day1【ケモセーフ使用】

1) デキサート	6.6mg	1 V
生食	50ml	1 本
	主管①	点滴 15 分
2) ペメトレキセド(アリムタ)		500 mg/m ² 【ケモセーフ使用】
生食	100ml	1 本
	主管②	点滴 10分
3) 生食	50ml	1 本
フラッシュ		

〈所要時間 約1時間〉

連日

1) オシメルチニブ(タグリッソ)	80 mg/body
	内服 朝食後

【文献】

国際共同第Ⅲ相試験【FLAURA2試験 N Engl J Med 2023;389:1935-1948 (PMID:37937763)】

【適応】

EGFR遺伝子変異陽性の手術不能または再発非小細胞肺癌

(他のEGFRチロシンキナーゼ阻害剤にトス治療歴を有し、病勢進行が確認されている患者で、EGFR T790M変異が確認され

（他のLUTバノロゲンテノ
た患者に投与すること）

に阻害剤による副作用を併し、例外的に阻害剤として使用している患者では、LUTバノロゲンテノが阻害剤として